

桜美林学園

同窓会だより

2022.9.25 発行

206号

100th
ANNIVERSARY
J. F. OBERLIN 2021



同窓会からのお知らせ	2
2022 総会 レポート	4
賀寿祝い礼拝	5
全国支部長会議	7
学園創立100周年記念事業	8
校長就任あいさつ	9
ひろば	11
活躍するオペリンナー	12
清水安三先生随筆	14
ご逝去された方々	15
INFORMATION / 編集後記	16



桜美林芸術文化ホール

東京ひなたやまキャンパスに2022年4月開設

100年桜まつり～リ・ユニオン&ホームカミングデー～開催のお知らせ

開催日程：11月12日(土) 町田キャンパスにて ※詳細は6ページをご覧ください。

同窓会からのお知らせ

2021年度の活動、決算報告および2022年度の事業計画についてご報告いたします

詳細は
ウェブサイトへ



会長あいさつ

「学而事人」の精神で魅力ある活動を進めていきたい

同窓会会長 山本美浩／79中学・82高校・86大中卒

2022年桜美林学園同窓会総会で会長に選任いただきました山本美浩です。今年は3年ぶりに荊冠堂チャペルで対面による総会を開催、賀寿祝い礼拝も約200名の同窓生をお迎えしてお祝いすることができました。ウィズコロナの時代となり、感染対策を適切に講じつつ、社会活動、同窓会活動もしっかり進めるべく日本全国、世界でご活躍される皆さまに紙面を借りてごあいさつ申し上げます。

桜美林学園同窓会は、清水安三・郁子の建学の基となったキリスト教精神「学而事人」の教えに基づき、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展に寄与することを目的としています。同窓生数は今年3月で11万8千人を超えました。この2年間は対面によるイベントや全国地域支部会は中止・延期となりましたが、コロナ禍で学業の継続が困難になった学生を救いたいという卒業生の強い思いから誕生した「オールオベリン未来ファンド」に、同窓会として合計1,200万円の寄付を行

い、100名を超える学生の「学業継続奨学金」原資の一部とさせていただきます。そして同窓会活動の理念と目的を明確化するべく一部会則の変更、同窓会各種規程類の見直し・整備を行いました。また、学園創立100周年を記念した同窓会記念事業として、同窓会創立65周年記念誌を作成（7月完成）、「桜の園日本一計画」では、昨年度158件の個人・団体から238万円を超えるご寄付をいただき、7種類64本の桜の植樹が完了し、ご寄付いただいた皆さまの銘板をチャペル横に設置いたしました。本プロジェクトは今後も継続していきますので、引き続き皆さまのご寄付をお願いいたします。その他に「石ころ庵改修・復活の丘聖地化プロジェクト」、「中国・北京 陳経綸中学訪問ツアー」、「100周年記念 在校生・在学生感想文コンクール」を継続取組中です。今年度の学園同窓会は、資産保全、社会的な信用、ガバナンスの構築・強化が求められる中、責任ある組織体制への進化

を目指し、「法人化」の検討、また全ての同窓生に向けた機関紙の発行、親睦会の開催、学園支援の原資となる「同窓会費・特別会費」の金額・徴収方法の検討、そして、会則目的に掲げている「母校の発展に寄与する」ためには具体的にどのような方法があるかを考え、具現化の検討に取り組んでまいります。

先輩方が築かれてきた同窓会65年の歴史の重さを受け止め、オベリンナーとして誇りを持ち、同窓会の機能や同窓生のネットワークを存分に活用し、母校と地域社会を含めた社会への貢献の一翼を担えるよう、「学而事人」の精神で魅力ある活動を進めていきたいと思います。

同窓生の皆さまにおかれましても、これまで以上に同窓会活動に関心を持っていただき、実施されるイベントに積極的に参画していただくことで、母校の発展に寄与できるよう、さらなるご指導、ご協力をお願いして、会長就任のごあいさつとさせていただきます。

2022～2023年度同窓会役員一覧

＊印は新任

顧問

大越 孝／69大英卒
川合 貞義／94大院卒
向井 孝次／58高校卒
小磯 明／03大院卒
時田 宝文／75大商卒
長谷川 哲雄／73高校卒

相談役

小椋 郊一／57高校卒
小林 茂／51高校卒
榎木 隆子／68短家卒

会長

山本 美浩／86大中卒

副会長

藤本 順子／78大英卒
井原 剛／81高校卒
坂本 尋／85大商卒

幹事

井伊 公友／79大商卒
池田 洋子／71短英卒
石井 明正／75大経卒
石川 和広／86大商卒
石原 健／88大経卒
＊石山 智博／89大経卒

＊井上 美紀／93大中卒

＊岩瀬 和子／82短家卒
植松 智子／77大英卒
内山 美津夫／69大英卒
及川 洋子／78大英卒
大沢 則夫／96大院卒
小椋 行夫／66高校卒
海藤 嘉郎／76大商卒

＊梶原 崇／82大中卒
数馬 田 啓／94大関卒
木下 浩司／89大英卒
木村 智次／00大関卒
霧生 保／71高校卒
笹野 博子／69高校卒

竹本 典秀／88大経卒
田邊 佳織／77大英卒
芳賀 成人／84大商卒
萩生 田康治／95大関卒
＊村田 望／88大中卒
谷津 町子／73高校卒
米山 定克／74大経卒
若林 章喜／92高校卒

会計監査

錦織 達也／68大英卒
大野 寿一／66高校卒

2022年度 事業計画

- 機関紙『同窓会だより』の発行
(205号・206号)
- 『総会』
開催：2022年6月11日(土)
- 『賀寿祝い礼拝』
開催：2022年6月11日(土)
- 中・高文化祭に参加
2022年9月18日(日)・19日(月・祝)
学園オリジナルグッズの販売
- 大学祭(町田キャンパス)に参加
2022年10月29日(土)～30日(日)
参加内容未定
- 100年桜まつり
～リ・ユニオン&ホームカミングデー～
開催：2022年11月12日(土)
- 『成人の祝い礼拝 茶話会』
開催：2023年1月9日(月・祝)
- 支部設立の拡大、支部継続の支援活動
- クラス会、学年会、OB会等の開催支援
- 成果表彰および役員表彰
- 新卒業生・修了生へ記念品贈呈
- 新卒業生・修了生へ
同窓会紹介パンフレット配布
- 第5回 全国支部長会議
開催：2022年7月2日(土)
- 学園創立100周年記念事業活動
- 会員情報の更新および管理
- その他同窓会の目的達成のための事業

※今後の事業予定については、同窓会ウェブサイトにて、または事務局までご確認ください。



3年ぶりに荊冠堂チャペルで開催された『総会』と『賀寿祝い礼拝』の受付風景

I 2021年度 一般収支決算報告

(2022年3月31日)

1. 収入の部

単位:円

科 目	予 算	決 算	増 減
2021年度卒業生会費収入 中・高校	3,272,000	3,240,000	△32,000
2021年度卒業生会費収入 大学	23,070,000	22,665,000	△405,000
2021年度卒業生会費収入 大学院	1,400,000	1,107,000	△293,000
特別会費収入	100,000	80,000	△20,000
利息収入	7,000	1,596	△5,404
誌代収入	50,000	59,000	9,000
雑収入	0	0	0
会費収入	450,000	0	△450,000
当年度収入合計	28,349,000	27,152,596	△1,196,404
前年度繰越金	8,857,813	8,857,813	0
合計	37,206,813	36,010,409	△1,196,404

2. 支出の部

科 目	予 算	決 算	増 減
印刷費支出	6,600,000	6,776,880	176,880
発送費支出	6,000,000	3,498,954	△2,501,046
広報取材費支出	100,000	9,286	△90,714
行事費支出	1,820,000	140,220	△1,679,780
組織推進費支出	2,700,000	59,200	△2,640,800
同窓会開催補助費	500,000	23,940	△476,060
記念品費支出	1,800,000	1,248,365	△551,635
会議費支出	850,000	764,918	△85,082
消耗品費支出	200,000	74,040	△125,960
通信費支出	180,000	165,392	△14,608
旅費交通費支出	300,000	212,120	△87,880
備品費支出	200,000	128,089	△71,911
業務委託費支出	3,500,000	0	△3,500,000
報奨金費支出	200,000	170,000	△30,000
予備費支出	1,156,813	1,300,880	144,067
慶弔費支出	100,000	22,220	△77,780
100周年事業費支出	1,000,000	420,000	△580,000
同窓会館建設積立金	1,000,000	1,000,000	0
財政調整基金	5,000,000	5,000,000	0
周年事業費積立金	4,000,000	4,000,000	0
当期支出合計	37,206,813	25,014,504	△12,192,309
次年度繰越金	0	10,995,905	10,995,905
合計	37,206,813	36,010,409	△1,196,404

II 同窓会館建設積立金

科 目	予 算	決 算	増 減
同窓会一般会計より繰入	1,000,000	1,000,000	0
前年度繰越金	113,000,000	113,000,000	0
合計	114,000,000	114,000,000	0

III 財政調整基金

科 目	予 算	決 算	増 減
同窓会一般会計より繰入	5,000,000	5,000,000	0
オールオベリン未来ファンドへ寄付	-6,000,000	-6,000,000	0
前年度繰越金	27,000,000	27,000,000	0
合計	26,000,000	26,000,000	0

IV 周年事業費積立金

科 目	予 算	決 算	増 減
同窓会一般会計より繰入	4,000,000	4,000,000	0
前年度繰越金	6,500,000	6,500,000	0
合計	10,500,000	10,500,000	0

2022 総会 レポート

6月11日(土)に3年ぶりとなる総会と賀寿祝い礼拝を開催しましたので、ご報告いたします

2022 総会

2022.06.11

3年ぶりに笑顔で開催

6月11日(土)、2022 総会&賀寿祝い礼拝を荊冠堂チャペルにて開催しました。

総会では、会則により幹事会で審議された2021年度事業・決算および2022年度事業計画・予算の報告のほか、役員改選では山本会長と3名の副会長の就任が承認されました。

総会后「賀寿祝い礼拝」を2020年度、2021年度、2022年度に傘寿、喜寿、古希、還暦を迎えられた同窓生を対象に行い、約200名の方にご参加いただきました。礼拝は山本会長のあいさつに始まり、パイプオルガンの奏楽、木村牧師の説教、大学クワイヤーによる奉唱、そして小池学園理事長、畑山学長より祝辞がありました。礼拝終了後はコロナ禍により

これまでのように茶話会は行えませんが、用意したお弁当を桜カフェで楽しんでもらうことに。参加された方々は在学中の思い出話

に花を咲かせ、食後には校内を巡り、とても楽しそうな姿が印象的でした。

唯一残念だったのは、いつも締めくくりに参加者が輪になって行う校歌斉唱ができなかったことですが、皆さん次回の参加を楽しみに笑顔でお帰りになられました。

賀寿をお迎えの皆さま、おめでとうございます。

行事企画委員長 木下浩司／89大英卒



末永いご多幸とご健康をお祈り申し上げます。礼拝にて捧げられました献金99,220円は、教育環境整備資金として学園へ寄付させていただきました。

2022年度 成果表彰

優秀な成果をあげた学生および団体を表彰し、賞状ならびに報奨金を授与いたしました。

● 大学 野球部

- 春季首都大学野球連盟一部リーグ
リーグ戦優勝 (2回目)
- 第70回 全日本大学野球選手権記念大会
春の全日本選手権大会 初出場

● 高校 美術部

第71回 学展GAKUTEN 最優秀学校賞 受賞



賀寿祝い礼拝

総会後に2020・2021・2022年度の3代の同窓生を対象に、賀寿祝い礼拝を開催しました

傘寿

80
歳

傘寿を祝って

昨年傘寿を迎え、3年ぶりに開催された「賀寿祝い礼拝」に出席した。当日は多くの教え子や後輩たちとあいさつを交わし、礼拝説教中は高校時代のさまざまなことが思い出された。私たちの学年は旧校舎から新校舎への移行期であった。鉄筋コンクリート校舎第一号である明々館の落成、新校歌の誕生、チャペルの落成、スクールバス初運行などの思い出を、清水安三先生・郁子先生の「祈りと信仰」に重ね、多くの先人の方々のご尽力の賜物であったことを再認識し、学園のさらなる発展を祈る次第である。

野中庸旦／59高校卒



喜寿祝い礼拝から3年、こんな窮屈な生活になるとは。傘寿祝い礼拝を開催していただき感謝しています。中学高校を卒業して61年、学園の発展と周辺の変貌は驚くばかりでした。3年前、淵野辺駅から歩いて桜美林へ向かうと、復活の丘は住宅街に変わり、桜美林教会があった以前の様子は何一つなく、年月を感じました。礼拝では木村牧師より説教「せん方つくれども希望を失わず」があり、讃美歌321番を歌いました。おいしいお弁当をいただき、友と語る楽しいひとときでした。中島久男／60高校卒



60年も前に桜美林で過ごした時間を、とても大切に思いつつ過ごしています。喜寿祝いの際は誰にも再会できなかったのが今回は見送ろうと思っていましたが、大阪に暮らすクラスメイトからの電話で私も参加を決めました。卒業してから長い人生の道のりを別々に暮らしてきても、会えば一瞬で昔に戻ります。懐かしいばかりではなく、これからも楽しく元気に生きていこうと思える時間でした。安三先生、郁子先生はいらっしゃらずともその精神が大事に守られていると感じ、母校のますますの発展を心から祈りました。 函館より 小菅まり子／62短家卒



喜寿

77
歳

喜寿を祝って

賀寿祝い礼拝にご招待いただきありがとうございました。同窓会の皆さまの心のこもったおもてなしに感謝申し上げます。名古屋から参加した友人と桜カフェでおいしいお弁当をいただきながら、学生時代を思い出し、楽しいひとときを過ごせました。学園のますますのご発展を心よりお祈りいたします。 前野澄子／63短英卒



古希

70
歳

古希を祝って

友人に誘われ、卒業以来48年ぶりに母校を訪れました。賀寿祝いには総数191名の出席があり、過半数が女性で男性は少数でした。皆さん健康に恵まれ、豊かな生活の中で今日の祝いを楽しみに待っておられたように感じました。礼拝は説教と讃美歌、そして聖歌隊のAmazing Graceとパイプオルガンの音色に心打たれました。終わりには全員で記念撮影をし、昼食に崇貞館学食で弁当をおいしくいただき、和やかな時間を過ごしました。キャンパスがあまりにも変わり、時間が経つほどに懐かしい建物を思い出せなくなり驚きを隠せない中、図書館と情報メディア室だけは当時と変わらず、記憶をたどり友人と話し合いながら学園を散策しました。皆さんの健康を祈りつつ、賀寿祝いに心から感謝いたします。 森屋 光（本田）／73大英卒



古希を祝って

桜の賀寿礼拝から緑豊かな季節の礼拝になりましたが、人生の節目である礼拝に参加でき嬉しく思います。十代で体験した学園でのさまざまな出来事が、この年齢になっても体の中にしっかり根付いていることを実感いたしました。

創立100年を迎えた今なお、「師の影を大いに踏みなさい」「ホームライクスクール」という安三先生のお考えが受け継がれていることの素晴らしさ。ただ桜美林の校歌を歌うことができなかったのは心残りではありましたが、同窓会事務局の皆さまの心温まるお取り計らいに感謝いたします。

中原茂美／72大経卒



還暦

60歳



還暦を祝って

中学・高校・短大家政科と8年間を桜美林学園で過ごしました。仕事柄、時々学園の行事に出席させていただいていますが、今回は3年ぶりに開催された「賀寿祝い礼拝」に還暦卒業生として参列しました。「きゃ〜！」という黄色い声はさすがに聞こえませんでした。マスクの中は皆さん満面の笑み。そして会場は、年齢は違ってもあっという間に和やかな雰囲気！ 清水安三先生の「隣人愛」の精神を思い出し、継承されていることを実感いたしました。

高校生のとき、精勤賞でいただいた「学而事人」の額が実家の応接間に今も飾ってあります。オペリン精神は、永遠に！



岩瀬和子／82短家卒

40年前町田駅から母とスクールバスに乗車し、崇貞寮に入寮したバブル期の女子大生が、賀寿祝い礼拝に出席するようになることは、当時は想像もできませんでした。

パイプオルガンの調べと大学クワイヤーの歌声に包まれ、3年ぶりの礼拝がスタートしました。木村牧師は説教で、コロナにより先行き不透明となってしまった高校生の考え方や気持ちの変化に、1945年に安三先生が敗戦により帰国をやむなくされた当時の心の葛藤を重ね、復活の信仰「せん方つくれども希望を失わず」をテーマとした、歴史を超えたお話をしてくださいました。

今回、札幌から賀寿祝いへ参加するにあたって、母校の門をくぐるまで不安でした。しかしイケメン在学生たちにスーツ姿で「おめでとうございます」と声をかけていただき、多くのオペリンナーの方々と交流できたことは、還暦を前に改めて人とのつながりを大切にしていこうと考えるよい機会となりました。最後に、学園と同窓会の皆さまのご尽力に心より感謝と御礼を申し上げます。

小助川よしえ／82短英卒



賀寿礼拝のお写真を同窓会
ウェブサイトでご覧いただけます！

<https://www.obirin.jp/alumni/topics/2022/jimukyoku/20220630.html>

ウェブサイトへは
こちらから



100年桜まつり～リ・ユニオン＆ホームカミングデー～開催のお知らせ

今年のリ・ユニオンは「100年桜まつり」と題して、校友会主催のホームカミングデーと合同で11月12日(土)に町田キャンパスにて開催を予定しています。詳細は同梱のチラシをご確認ください。

※新型コロナウイルスの感染状況により中止となる場合もありますので、その際はご了承くださいませようお願いいたします。
中止の場合は同窓会ウェブサイトにてご案内します。

■ 全国支部長会議 ■

7月2日(土)にオンラインで開催された全国支部長会議についてご報告いたします

■ 第5回 全国支部長会議開催報告

ゲストに前中高校長の太越先生を迎え、10支部、設立準備中2支部と本部幹事を含めた25名にて「今年のテーマ」という議題にて話し合いました。まず山本会長より今期の本部テーマの発表がありました。その後に発表された各支部のテーマや予定をご紹介します。ぜひ一度お近くの支部会へご参加ください。来年の支部長会議は、対面でより具体的な話し合いを考えております。



組織推進委員長 井伊公友／79大商卒

北海道 小助川副支部長／テーマは「承継と進化」。今後リアルとオンラインのハイブリッド運営をしていく。秋頃にリアルで支部会を開催したい。

宮城 阿部副支部長／秋の芋煮会を予定している。安三先生の劇を宮城でも観ることができたらと思う。また近隣で活躍する同窓生の紹介や交流を望んでいる。山形支部や福島支部と力を合わせてやっていきたい。

千葉 伊東支部長／少人数の食事会やゴルフでは集まっているが、支部会へ毎年日程を合わせて参加してもらうことは難しい。一定数と過去の出席者へ案内を行い、新たな参加者が増えるよう努力したい。

横浜 田中支部長／本年9月3日(土)に3年ぶりに支部会を開催予定。タイトルは「次世代への継承」。多くの皆さまにお集まりいただきたい。

相模原 霧生支部長／テーマは「継続可能な体制づくり」。多くの本学生が市内行事にボランティアで参加しているので、交流を図っていききたい。11月20日(日)に支部会を予定。

町田 大沢支部長／水澤心吾氏「清水安三・石ころの生涯」朗読劇。地方から訪れた同窓生を歓迎するため桜美林施設巡り。元旦に復活の丘から初日の出を拝む会などのイベントを企画。

滋賀 岡本支部長／滋賀には「清水安三記念館」「清水安三記念福祉会」があり、毎年講演会や学園との交流会を行っている。今年1月の水澤心吾氏「清水安三・石ころの生涯」朗読劇は大変好評であった。

大阪 高野支部長／本年10月第4土曜日に3年ぶりに支部会を開催予定。多くの方に集まっていただきたい。

兵庫 高村支部長代行／支部会の開催は未定。まずは支部の組織固めをし、今後具体的な取り組みができたらと思っている。また枠組みだけ支部のウェブサイトを立ち上げた。卒業生に書き込みをしてもらえるようになると嬉しい。

広島 今川支部長／今年か来年早々に広島市で支部会を開催したいと考えている。広島市での開催は初めてなので、多くの方にお声がけしていきたい。

香川 筒井氏／愛媛支部の松田支部長の協力を仰ぎながら、香川・愛媛を中心に新たに四国支部発足を目指したい。

山形 手塚氏／鶴岡、庄内在住の4人で支部発足に向け企画中。今年度中に山形支部発会式を開催したい。



詳細は
ウェブサイトへ

■ 全国の支部をご紹介します ■

204号に続きまして、今号では町田支部についてご紹介いたします

町田支部

MACHIDA

発会年度：2002年 会員数：3,517名

支部会開催時期：2017年7月21日(前回)

メッセージ：現在町田支部は約3,500名の会員を擁し、日々学園の発展を肌で感じられる環境であります。しかしながら、これまで遠方および近隣の会員の皆さまの期待に応えられる地元ならではの活動は不十分だったように思います。学園創立100周年を経過するにあたり、年一回のリ・ユニオンに加

えて、日常の中でホームライクな活動ができないか、昨年より会合を重ね話し合ってきました。まずは、安三先生のお膝元・滋賀支部が同窓生以外の地元有志の方々とタイアップした活動や、他支部の活発な活動を参考にさせていただき、地元ならではの楽しく集える組織づくりを目指し、次のような計画を考えています。支部運営規約の整備、学園「新」施設の見学会、近隣支部との交流会、水澤心吾氏の朗読劇「希望を失わず」鑑賞会など。皆さまの忌憚ないご意見がいただければ幸いです。

大沢則夫／96大院卒

学園創立100周年記念事業

100周年記念事業のプロジェクトの進捗をご報告いたします



〈桜の園日本一計画〉にご寄付いただきありがとうございます

多くの皆さまにご賛同をいただき感謝申し上げます。2022年7月末までにご寄付をいただいた方々を記載いたします。

桜植樹の進捗状況は同窓会ウェブサイトでご報告させていただきます。

森屋 光／73大英卒 …… 30,000円
鈴木久代／67短英卒 …… 30,000円
川島 聡／07大院卒 …… 30,000円
千葉敏行／87高校卒 …… 10,100円
村上雅美／02大中卒 …… 10,000円
伊東茂治／83大経卒 …… 10,000円
林 義明／83大商卒 …… 10,000円
小西美子／63短英卒 …… 10,000円
竹之内朋子／77短英卒 …… 10,000円
山田豊幸／60高校卒 …… 10,000円
鈴木正子／82大中卒 …… 10,000円
榎本悦次／77高校卒 …… 10,000円
松尾智子／83大英卒 …… 10,000円
小椋行夫／66高校卒 …… 10,000円
小椋千賀子／66高校卒 …… 10,000円
北村 亮／69高校卒 …… 10,000円
横田幸男／54高校卒 …… 10,000円

倉橋瑞穂／96大国卒 …… 10,000円
飯田真理子／68高校卒 …… 10,000円
小野和子／76短英卒 …… 10,000円
井上悦子／69高校卒、 …… 10,000円
吉村愛子／03大BM卒 …… 10,000円
沖田教子／69高校卒 …… 10,000円
小倉淑子／68短家卒 …… 10,000円
杉浦信男／50中学卒 …… 10,000円
藤井恵子／60中学卒 …… 10,000円
1976年度大学短大入学
フォークソング研究部 …… 10,000円
近藤英美／63短家卒 …… 10,000円
小助川よしえ／82短英卒 …… 10,000円
井上恵理子／11大LA卒 …… 8,560円
伊藤絵里香／在校生保護者 …… 5,000円
梅澤颯汀／20高校卒 …… 5,000円
(2022年2～7月末日現在)

〈桜の園日本一計画〉寄付金 募集要項

- 基金目標額 1,000 万円。
桜植樹および維持協力金として支出予定です。
- 一口 5,000 円
口数は無制限。複数人で一口でも大歓迎です。
※ 桜美林学園同窓会は任意団体につき寄付金は
税額控除等の対象にはなりません。
※ ニ口以上ご寄付いただいた方、団体のお名前を
チャペル横に設置した銘板に掲載いたします。
- 趣旨にご賛同いただいた方は、下記口座へお振
込みの上、QRコードから参加申込フォームへ
アクセスし、必要事項のご入力をお願いいたし
ます。

【振込先】

ゆうちょ銀行 〇〇八（ゼロゼロハチ）支店
普通口座：9010259
口座名義：桜美林学園同窓会
(オビリングクエンドウソウカイ)

【参加申込フォーム】

必要事項の入力はQRコードから →



〈100周年記念 在校生・在学生感想文コンクール〉のご案内

現在学園に在籍されている生徒・学生の皆さまにとって、学園創立者とその業績は書物の中にしか存在していないのではないかと思います。大正、昭和と続く戦乱の時代に北京で「崇貞学園」を設立後、戦争終結までの24年半の道程の全てを失い帰国、そしてまたすぐに新たな教育事業を再開する。このような業績は、国際情勢が混迷している今こそ見直されるべきものではないでしょうか。将来進む道を模索されている皆さまにとりましても、清水安三先生、郁子先生の困難な道のりの先に成し得た偉業は、必ず希望と勇気を与えてくれるものと考えます。

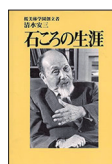
学園創立100周年を経過するにあたり、創立者の抱いた思いを読書感想文を通して学園の皆さまに共有いただきたく、右記の要項で募集いたします。

名称 100周年記念 在校生・在学生感想文コンクール
主催 桜美林学園同窓会 **後援** 桜美林学園
対象 桜美林学園在校生・在学生

① 中学生の部 ② 高校生の部 ③ 大学・大学院生の部

募集期間 2022年9月1日～2022年11月30日

課題書籍 清水安三先生著書 『希望を失わず』『石ころの生涯』『朝陽門外』『桜美林物語』より一冊を選択



応募方法 原稿用紙5枚（2,000字）分をワード文書にて
同窓会（alumni@obirin.ac.jp）に提出

表彰 参加賞、各部門優秀賞各5名、最優秀賞1名

審査 感想文コンクール審査委員会

応募・表彰などの詳細は同窓会ウェブサイトにてご確認ください。

校長就任あいさつ

歴史とつながりに感謝して

桜美林中学校・高等学校 校長 堂本陽子



桜美林学園との縁

同志社大学を卒業後、滋賀県の近江八幡教会に牧師として派遣され、その後岡山県の倉敷教会に赴任していた当時、小林茂先生の紹介で柳原鐵太郎先生より桜美林中学・高校でのチャプレンを薦められました。これがきっかけで2003年に桜美林中学校・高等学校のチャプレンとして赴任しました。清水安三先生とは出身大学が同じで、出生地が私の赴任地と同じ滋賀県、また倉敷教会を建てた大原孫三郎氏は先生のオベリン大学留学を経済支援された方と、私も先生とご縁がありそうなのですが、桜美林学園に着任するまで接点はありませんでした。

チャプレン時代でいちばん印象的だったことは、チャペル（旧荊冠堂）で行われた第一回成人式です。ものすごい人数の卒業生が学園に帰ってきて、集合写真は参加者全員では収まりきらず、クラスごとに撮影するほど大盛況でした。清水安三先生の桜美林スピリッツが継承され、横のつながりがしっかりとつくりだされていることを実感しました。この成人式を今も同窓会の皆さまに支援していただいていることにとっても感謝しています。

校長として

また、同窓会では中・高文化祭で学園オリジナルグッズを販売し、売上金を中・高の教育環境整備、充実のための資金としてご寄付いただいております。私もテイベアのキーホルダーを数個購入しています。チャプレン時代、心が疲れてしまった生徒と面会した際、癒しとしてテイベアを渡し「お守りと思って持っていなさい。桜美林ベアだから守ってくれるわよ」と元氣付けたことがありました。

これまでチャプレンとしては、生徒を相手に個人として受け答えしておりましたが、本年4月に校長を拝命してからは、学校としての方向性や先生方の意見も尊重していく必要があり、責任の重さを感じています。

生徒には、グローバルな社会で活躍できる国際人に成長してほしい。グローバルは、海外に出ていくというだけの意味ではなく、日本国内がすでにグローバルな社会になっているのだと思ってほしい。桜美林プライドを持って学び、卒業してから桜美林で学んでよかったと誇れる

ような人になってほしい。そんな学校づくりができればと思っています。

同窓生の皆さまへ

桜美林学園同窓生の皆さまには、崇貞学園から数えて101年を過ぎ、これまで自分たちの手で図書館をつくったり、プールをつくるために穴を掘ったり、その一つひとつの積み重ねで今日があり、本当に感謝の一言に尽きます。

『同窓会だより』を拝読すると、皆さまの具体的なエピソードや当時のかけがえない思い出が綴られており、知り、学び、共有できるものとして大切に読ませていただいております。

今後は教員、生徒、同窓生のつながりをより深めていけるような活動を模索していきたいと思っておりますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。

（インタビュー担当 広報委員会
霧生保、田邊佳織）



満開の桜の下で中・高生の皆さんと笑顔の堂本校長

〈記念誌プロジェクト〉同窓会創立65周年記念誌が完成しました！

桜美林学園創立100周年を記念して、同窓会が制作した『桜美林学園同窓会65年の歩み』を7月1日に発刊いたしました。同窓会の65年の歩みを振り返り、これまでの活動をまとめた初の記念誌です。今後の同窓会行事や支部会にて参加の皆さまに配布する予定です。発行部数が限られており、全ての皆さまにはお届けできませんが、後日データ公開も予定しております。

〈石ころ庵改修・復活の丘聖地化プロジェクト〉 現在も継続審議中です。詳細は同窓会ウェブサイトをご覧ください。

〈中国・北京 陳経綸中学訪問ツアー〉



NEWS

創立100周年記念式典のご報告

2022年5月29日

2021年5月28日に創立100周年を迎えました学園は、コロナ禍で延期しておりました記念式典を、本年5月29日に挙行了しました。

感染対策として、同窓会からは会長のみ出席となったため、オンラインにてライブ中継の視聴で参加いたしました。

式典は町田キャンパス 荊冠堂チャペルで開催され、300人を超える関係者が会場に集い二部構成で行われました。チャペルに響き渡るパイプオルガンの音色と讃美歌で始まり、厳かな礼拝の中で100年の

歴史の重みを改めて感じる式辞や感謝の意が述べられました。小池理事長の式辞から、創立者清水安三先生、郁子先生をはじめ、賀川豊彦先生（初代理事長）、大野一男先生（学長・理事長）、佐藤東洋士先生（学長・理事長）などの先生方や教職員の方々もさることながら、表に現れてこないような立

場で学園を支えてくださった方々、学園に土地を譲ってくださった地元の方など多くの方々のおかげで今日の桜美林があることや、感謝を忘れず、人にやさしい、人のことを十分思いやることのできる、豊かな人間性を備えた学生や生徒を輩出できる桜美林学園であり続けたいという強い願いが述べられ、大変心温まる式辞でした。



同窓会山本会長の式辞も素晴らしく、同窓会65年の歴史とともに学園に寄り添う思いを伝えてくださいました。卒業生からのビデオメッセージ、アトラクションなど盛りだくさんの内容でしたので、3時間の視聴は少々長く感じられましたが、どれも外すことのできないオペリンナーからのお祝いでした。

学園の次の100年への

新たな歩みは、すでに始まっております。同窓会として、これからも若い卒業生につないでいくために、歴史のページを重ねてまいりたいと思います。

同窓会副会長 藤本順子／78大英卒



小池一夫理事長



山本美浩同窓会会長



中学校・高等学校ハンドベル部

声楽家 小林可奈さん
(14大総卒)大学ソングリーディング部
CREAM

NEWS

中学校・高等学校の生徒へ生理用品の寄付を行いました

2022年2月16日

コロナ禍の終息が未だ見えない状況下、同窓会は経済的事情などにより生理用品を十分に用意できない中学校・高等学校の生徒への支援として、生理用品を提供いたしました。

2月16日（水）、同窓会の藤本順子副会長が桜美林中学校・高等学校へ赴き、若井一朗教頭から校内での設置状況に

ついて説明を受けました。大越 孝校長が「公立学校でも設置をする流れになってきており、とても良いタイミングでお話をいただき感謝しています」とお礼を述べられると、藤本副会長は、「この問題以外にもたくさんの問題を抱えている生徒さんがいる。同窓会としてお役に立てれば」と話しました。



皆さまからのお便り ひろば

(ひろば欄担当 広報委員会 霧生 保、石原 健)

藤巻由絵／96大英卒

(東京都)

桜美林を卒業して20年以上が経ち、娘二人が進路を考える年頃となりました。娘たちには、桜美林で先生方に教えていただいたことを、たくさん話し伝えてきました。「人は、好奇心から自ずと学びたくなること」「学べるということは、とても贅沢であること」等、先生方のお言葉をいつも思い出し、娘たちと一緒に勉強を楽しんで参りました。娘たちには、自分に合った進路を見つけ、私自身がそうであったように、学生時代を楽しんでほしいなと思います。

高橋弥生／76高校卒

(神奈川県)

『同窓会だより』毎回楽しみにしております。私はこの年になり息子と共に実家を離れ独立生活を始めました。この数年キャンパスの近くを車で通ることがあり、住宅の中に囲まれた現在にびっくりしています。復活の丘へ登った頃をなつかしく思います。あの頃は子どもで感じなかった、よきキャンパスの思い出がよみがえってきます。

砂原奈美子／89高校卒

(東京都)

小林茂先生（チャプレンでしたね、懐かしいです）による、安三先生随筆「基督教世界」を、いつも興味深く拝読しています。これは書籍になってほしいくらい貴重です。昔の人たちの言動が生き生きしていますし、今の日本には安三先生のような世界規模で考える視点が必要だということが具体的によくわかります。

伊藤和美／85短英卒

(東京都)

『同窓会だより』いつもありがとうございます。高校、短大とお世話になりました。たくさんの思い出があり、貴重な5年間でした。お世話になった先生方には感謝しかありません。そして大切な友人たちにもコロナが終息したら会いたいと思います。桜美林にも行きたいです。

横田幸男／54高校卒

(東京都)

桜美林学園を卒業し、約70年近くになります。傘寿、米寿、卒寿と人生の祝いが続きます。誰もが叶えられるものではありません。今まで生きられたことを大変嬉しく思います。戦後77年間平和な社会が続き、生きられることは大変ありがたく、いつまでも続くことを願わずにはいられません。長寿だった恩師の清水安三先生、川上ヨシ先生のあゆみを見習いたいです。

前田恵子／86大英卒

(北海道)

6年程前に大学の入学式の日からの友人がアメリカより帰国したのをきっかけに、他の友人、寮時代の友人と5人でラインをしています。学生時代の思い出話から相談ごとまでほぼ毎日交流しております。コロナの前は東京でお食事会も数回いたしました。また皆で、今度は大学の同窓会で一緒にいたい。大学の先生方、スタッフの皆さまに心より感謝しております。

野間恵美子／74高校卒

(埼玉県)

会計年度任用職員として小学校に勤務しながら、2021年3月27日にEMIKOとして「目覚め～悲しみにさようなら」という曲で歌手デビューし、板橋を中心に活動中です。「歌う和菓子屋」として、大山で「辰屋かぎや」の店の主人と音楽活動を続けています。

宮本 淳／83大経卒

(東京都)

60歳になり、この3月で定年退職しました。町田市立小山田中学校で退職し、そのまま同じ職場で再任用されることになりました。短時間で週4日勤務し、社会科の授業を18時間持ちます。町田市と東京都の教育委員会から感謝状をいただき、長年勤めてきて本当に良かったと感じています。桜美林大学を毎日見ながら通勤しています。

鈴木和子／88短英卒

(神奈川県)

短大家政科卒業生の赤松（旧姓田村）恭子さんが、渋谷で18年間オーナーシェフとして「ピノサリーチェ」というイタリアンレストランを運営しています。南イタリア料理とワイン、カンノーリなどのイタリア菓子にも力を入れていて、とても素敵なお店です。お店だけでなく赤松さんの人柄も素敵で、東日本大震災での保護猫の里親になったり、4匹の保護猫を飼っているそうです。

佐藤みちよ／63中学卒

(茨城県)

兵舎の上が寮、下が教室。1棟目に職員室、校長室がありました。川村先生御一家も3棟目、真ん中の所に暮らしていらっしゃいました。わがままで勝手な我々をいつも見守ってくださり、その時の思い出は感謝と共に忘れることはありません。特に、クリスマス会！また、暖房のない寒い冬の夜、毎日懐中電燈を照らして、点呼してくださった舎監の川村先生を忘れたことはありません。年をとってもますますあの日を懐かしく思い、胸が熱くなります。寮生たちと会う機会があったら嬉しいですね。コロナがおさまリ、寮会が開かれたら必ず行きます！パイプオルガン制作者の中里君は同級生です。

石川まさ／53高校卒

(東京都)

昭和23年から29年まで楽しくお世話になりましたのに、なんのお返しもなく86才になってしまい申し訳なく思っております。もう人生事業も終業に近くなりましたので、お詫びを申し上げるだけになってしまいました。さようなら。感謝を込めて。

大谷 努／86大中卒

(宮城県)

第5回 仙台短編文学賞の大賞を受賞しました（作品は「河北新報」「Kappo」に全文掲載されています）。4月24日に仙台文学館にて授賞式が行われ、選考委員の芥川賞作家・玄侑宗久さんより賞状をいただきました。在学中は文芸部（桜美林ペンクラブ）に所属していました。当時の顧問、故小村哲雄先生がご健在なら喜んでいただけたのにと残念です（詳細は同窓会ウェブサイトをご覧ください）。

ひろばへお声をお寄せください

同封のハガキ、同窓会ウェブサイトの掲載申し込みフォーム、右のQRコードから投稿が可能です。





活躍するオベリンナー



歯科医として、地域医療に貢献
球児のマウスガード普及にも尽力
医療法人社団 恒久会
江口歯科医院理事長 江口康久万さん(77高校卒)

学園創立100周年を迎えられたこと心より喜び申し上げます。奇しくも昨年、私も文部科学大臣表彰を受賞しました。担当校を「歯の日本一」に導き、教育現場での指導などが評価されました。小学校で授業を行い、成長に合わせた指導の様子をTVや新聞で取り上げていただき、ヤフーニュースでも1位になりました。

私は日本学校歯科医会常務理事、東京医科歯科大学矯正科同門会副会長を経て現在、旭区歯科医師会会長、鶴見大学非常勤講師などをしております。横浜市立万騎が原中学校の同窓会長もしておりますが、依頼された際には躊躇し二度お断りしました。中学時代は

悩むだけでいい結果が出せなかったからです。だから毎年万騎が原中学校の卒業生には私の失敗談とともに、桜美林高校野球部のことを話しています。

優勝した高校野球部に
触発された青春時代

高校2年の夏、野球部はひたむきな努力を果らせ、甲子園で優勝を果たしました。彼らの野球に打ち込む姿は、「努力する人には勝てない」ということをまさに実証してくれたのです。努力の素晴らしさを知った私は学業で示そうとしました。しかし当時、歯学部は6年で臨床も学ぶ、大学の中でカリキュラムがいちばん多い学部。人

日本初の“退職学”を提唱 最高の会社の辞め方とは？

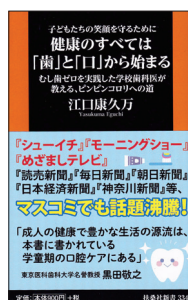
退職学研究家 佐野創太さん(96高校卒)



©Hayato Sakurai

気も高く、医学部と歯学部がある大学の入試では1位が歯学部だったこともあり、さらに共通一次試験が始まったことで私立の倍率が史上最高となり、国立に受かって私立に落ちることもある混沌とした時代でした。私も予備校の模試では年間通して私立理系で二つ優秀賞をいただくも、肝心の入試では特待生の学科試験はパスしても面接で袖にされる苦い経験をしました。父から退職金を充てるから進学しなさいと言われ、自分でも6年間休みなくアルバイトをし授業料の一部を捻出しました。そんな父が大学4年のとき癌で亡くなったショックと、努力の成果が出せず落ち込むこともありましたが、卒業試験では上位に入り当時最難関だった東京医科歯科大学病院の矯正科に進み、日本一といわれた先生にも認められ二俣川で開業しました。

桜美林の話も
載っています



健康のすべては
「歯」と「口」から始まる
扶桑社 990円(税込)

んでばかりじゃダメだろ。勉強しろ」と言われ、何も言い返せなかったのです。そのときはまだ、自分の頭と心で下さなかった決断が「傷跡」になると

とできれば、退職後も声をかけられ続ける人物に成長できるのです。私は自分のミッションを「退職学」と名付けることにしました。そして1000人

知ったヒックス校長先生でした。すぐに意気投合し応援を楽しましました。また、5年前、日本学校歯科医会長から全国の球児の外傷防止のためマウスガードの普及を依頼されました。日本高野連の田名部理事からも「野球人口の減少の原因にもなっているのを助けてほしい」と懇願され、私が桜美林出身と知ると片桐先輩の話になりました。さらに普及モデル校の浦和学院高校に行った際、野球部長と話していると「これから桜美林の優勝メンバーが来るよ」と告げられ、部長と大学時代同級生だった村田先輩にお会いしました。高校時代は45年も前のことですが、いまだにこうしてつながっていることに感動し、大切な時間を桜美林で過ごせたことに感謝しております。

北海道支部 IN 町田キャンパス 100年桜まつり 参加ツアー



北海道支部は、11月12日(土)に行われる〈100年桜まつり〉に参加するツアーを現地集合・現地解散で開催します。旧友との再会、学園内見学、懇親会を楽しみましょう。ツアー詳細は右上のQRコードから同窓会ウェブサイトをご覧ください。



また、北海道支部グループLINE登録を受付中です。左のQRコードからぜひご登録をお願いします。

北海道支部長 矢吹光弘／83大英卒



NEWS

大学アメフト部、関西学院大学と対戦

2022年5月15日

神戸の王子スタジアムにて、4年連続学生日本一である関西学院大学と交流試合を行いました。結果は45対21と敗れたものの、1968年に創部して以来の初対戦。日本一になるためにはいつか必ず倒さなくてはならないチームですから、学生たちは多くの収穫を得たことでしょう。創業者清水安三先生が、かつて創立30周年(1976年)の桜美林大学だよりでアメフト部に対する夢を語っています。「〈アメリカンフットボールを伴ひて行くまで 我は生きむとぞ思う〉長い間野球の試合を見に行ってきたが、今より後はアメリカンフットボールを見に行き、桜美林が日本一強い関西学院のチームを負かすに至ったならば、アメリカへ伴い行って、オハイオのオベリンカレッジと一戦交えるつもり」と。高校野球部が同年に甲子園優勝を果たしたときの先生の句〈夢を見よ 夢は必ず成るものぞ うそと思わば甲子園に聞け〉にもあるように、チームの目標である「学生日本一」を目指してほしいと思います。皆さまのご声援をよろしくお願いいたします。

OBIRIN CLASS of '82 開催中止のお知らせ

1981年度桜美林高校卒業同窓会は本年度開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し中止となりました。詳細は同窓会ウェブサイトをご覧ください。



「会社辞めたい」
ループから抜け出そう！
サンマーク出版
1,540円(税込)

2007年に桜美林高等学校を卒業した佐野創太と申します。本年1月に『会社辞めたい』ループから抜け出そう！ 転職後も武器になる思考法』を上梓しました。Amazonや楽天のランキングで1位をいただいています。初めての出版を機に、紹介していただく機会を得ることができました。

「引きざわ下手」が生んだ 退職学の研究者

私の生活は小学生の頃からずっと「寝るか食べるかボールを蹴るか」でした。それなのに同期よりも早くサッカー部を引退してしまいます。なぜだと思いますか？ 両親に「そろそろ遊

は知らず、卒業してしまいました。私の「引きざわ下手」はこの頃から始まります。やめどきの判断が、下手なのです。社会人になっても最初の会社を1年で退職。次の会社も1カ月で退職し、無職に。でも、不思議なことが起きました。「引きざわ下手」が今の私の仕事、日本で初めてかつ唯一の「退職学」の研究者、という仕事を生み出したのです。私のミッションは、これまで後ろめたい手続きでしかなかった退職を、人生に起こる幸せなイベントに変えること。退職には技術が必要だし、哲学も必要。退職がきちん

以上の転職や独立したい個人と、良い会社をつくりたい経営者の相談を受け続けた結果が前述した本です。私は音楽が大好きです。あるミュージシャンのこの一言が忘れられません。「心に持った傷、傷痕からセンスは生まれる」というのも過言ではない」私にとってサッカー部は傷跡です。でもその傷跡が退職学の生みの親になりました。私が桜美林で学んだ最大の教訓は「傷跡には意味がある」だったようです。この拙著をきっかけに、皆さまと仕事や人生について語り合える日が来ることを心待ちにしています。

清水安三先生随筆

「基督教世界」

大正15年（1926年）4月22日

原文、難しい本漢字は略漢字に、旧仮名使いは新仮名使いに、志那は中国に、甘は二十に改めました。

難しい漢字には振り仮名を振り、随時（ ）で補い、句読点を付けました。

小林 茂／51高校卒



ビリー・サンデーを聞く

オベリンにて 清水安三

ビリー・サンデーがクリーブランドに来ると聞いて、私はこの機会逸すべからずとなし、学校を早引して去る二月二十四日同市に到った。クリーブランドはオベリンと東京横浜の距離にある。私は一年振に電車に乗ったのであるが、酔うて目がまうて四回も電車を降りてフレッシュエアを吸うた。アメリカの電車というものは、馬鹿にガタビシャゆれて叶わぬ。其処へ持つて来ると日本の電車は大軌（大阪電気軌道）今の近鉄）でも阪神でも、実用上等である。でも無事にクリーブランドに着いた。

午後の八時に演説が始まり、六時に

は開館せられるということであった。

会場は一万二千の座席を有すると謂うクリーブランド公会堂である。断つて置くがクリーブランドは米国第六の大都市である。私は折角来たからには入場出来ぬことがあつてはならぬと考えて、サンドウィッチを買い込み、四時前に会場へ着いた。入場の後欠伸の出来ない様に、新聞を五種も贖いポケットに押し込んで行つた。私の予想では四時間前に行つたら、私が入場第一人だと思つていた。然るに勿驚、已に群衆は門前に溢れて、恰も汽車の切符を買うように、数珠つなぎに並んでいた。私は寒天に二時間立つて、自分の順番を維持せざるを得ない破目に陥つた。当日は寒風凜烈（厳しい寒さ）で（洋服や外套をつき通して）肌を刺すとい

う有様であった。群衆の過半は婦人であつたが、水鼻を垂らしながら二時間立ち通すのだった。私はポケットの新聞を出して、よみ出したが、何れの新聞もビリー・サンデーの記事で満ちている。ビリーのベースボール服を着た大きい写真を出すもの、講壇で獅子吼している図も出ている。ビリーの伝も出ている。私がそれをボツボツ読んでいると、私の傍に立っていた青年が何ぜ早く次のページを読み始めんかという。私の読む速力が遅いので横から盗み読みしている人達が待ちいどんでいる。赤の他人のストレンジジャーが我輩の新聞を我輩が読むのに、ゆつくりと読もうとボツボツと読もうと勝手である。するとまた後に居るどこの何処の婆ともわからんマダムが「この人の意見に一致する」という。私の肩の後ろから覗きよみしていたこの婆さんもまた私が次のページを容易にめくらないのが、気に入らぬらしい。そういうわけで、ビリーの記事を五行ぬきにして、ずんずん読んで隣に立つて人々と共に読むわけである。逆も字引など引っぱりよむわけには行かん。

するうちに六時十五分前になった。群衆はもう公会堂を幾重にも取り巻いている。それが時の迫るにつれて動揺する。心がたけるのである。六時きつちり一分一秒もたがわずに、巡査が扉

を排した。群衆はどしどし入った。二百人からのアッシャー（会場世話係）が一々会場を整理している。驚いたことには六時二十分には一万二千の椅子がビッシリつまつた。六時半には講壇の上に三百名の聖歌隊、階下に一万八千人、階上に八千名で、約五千のものが席なくして立っている。六時半には公会堂はしめられたのである。が、追いかえされしものは約一万ということであつた。

こういうたからとて、何も驚いたこととは無い。曾って宮川（経輝）先生が言われたように、日本で二百名集める程の牧師ならば、米国に生れたら二千人を集める。私の考えではもっと集まると思う。宮川先生が紐育で四十年やつておられたのであつたら、エブリサンデーに七千八千の群衆は集まつて、DDやらLLDは五つ六つ贈与せられたと信ずる。それでビリー・サンデーが米国で一萬を追いかえしても驚く必要はない。私は江州（滋賀県）は片田舎の産であるが、うちの村は四十二戸の人家しかない。この小さい村にある寺で、本願寺本山の講釈が始まると、善男善女、悪人悪婆が凡そ一萬集つて、賽銭箱の代りに、酒屋の醸造桶を用いる。その桶には梯子を用いて登らんと頂きに攀ずることができぬ。賽銭は尤も一銭銅貨なり穴あき銭であるが、見

NEWS

多摩都市モノレール、学園に延伸予定

2021年12月27日



広報まちだより一部改変



東京都が設置した「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」において、全長約16kmの延伸ルートが選定されました。ルートは多摩センター駅から、野津田公園～日大三高～小山田桜台団地～桜美林学園～木曽山崎団地地区～町田市民病院～町田高校を経て、町田駅まで。開業予定時期は未定ですが道路整備が順調に進めば、学園へのアクセスが向上する見通しです。選定されたルートである桜美林学園の横を通る道路には、「延伸予定ルート」と書かれた看板が設置されています。

若林章喜／92高校卒



ご逝去された方々 謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒業生は敬称略

()内は旧姓 []内は逝去年月

沖汐照雄	86大経卒〔22.02〕
篠崎 徹	77高校卒〔22.02〕
栗山光代(鎗田)	56高校卒
関根晴彦	77大経卒〔22.01〕
若林秀行	60高校卒〔22.04〕
長門富子(小谷田)	69高校卒〔22.03〕
福田一成	65高校卒〔22.04〕
鈴木佐栄(大出紀子)	52短英卒〔22.03〕
原 良子(井出)	64高校卒
佐藤和子(山口)	48中学卒〔21.11〕
寺内孝樹	69高校卒〔21.07〕
渡辺万知子	70短英卒〔18.10〕
辻 裕子	83大英卒〔21.05〕
高木小百合(木村)	85短家卒〔21.06〕
谷 純子(桧垣)	68短英卒〔20.09〕
小山誉夫	50中学卒
三沢孝次	55高校卒
北村聡美(櫻井)	81大英卒〔20.12〕
小方彦司郎	56高校卒〔22.03〕
浅谷貞一	56高校卒〔22.02〕
石曾根由美子(須藤)	70短英卒〔22.05〕
河合玲子(吉田)	86高校卒〔22.01〕
牧原喜郎	71大英卒〔22.06〕
三嶽道子(大圃)	66高校卒〔22.02〕
篠崎寿夫	70高校卒〔20.07〕
高田光宏	62短英卒〔21.02〕

見る内にこぼれ出るので桶の上部を箆で掻き巻くという有様、若狭、越前からも山越え谷を渉ってやって来る。私はビリー・サンデーの集会に列して其光景を思い出した。

余談はさて置いて、会場に入場して見ると、一種のぼせるように感ずる程に人が込んでゐる。七時になるとビリー・サンデーの相役の音楽家 Rodeheaver が、講壇にあらわれる。この男はでっぴりふとって、実に立派な音声で喋り出す。バリトン

の肉声で以て歌う。私もこの人のクワイアを指揮するところ、また二万に近い群衆に歌を教えるところ、手に入つたものだと思つた。木村清松先生の司会ぶりに非常によく似ている。右方階上に居るものに一節を、次は左方階上に一節を、それから後方階上にと一節づつ歌わせる。左右の階上のものに歌わせる時は両手を用いて指揮するが、後方階上の聴衆に歌わせる時は、ひとさし指を一本、高く上に掲げるとさして手を動かさずして自分は黙して聞いて

いる。歌い終る毎に「立派だ有難う」というて一寸滑稽なことをいつて、どつと笑わせるのが常であつた。黒人の青年がスピリットを歌つた。アンコールなどあつて、大喝采であつた。八時近くなるまで、ロードファイバーが自ら歌つたり、聴衆を歌わせたり、コルネットを吹いたり、凡て音楽の爲めに用いられた。八時十五分前になると、ビリー・サンデーがやって来た。妻君を伴うて壇上にあらわれた。ビリー・サンデーも多分コルテンの洋

服を着て来るかと思つていたら、毛皮の外套を穿つていた。満州か中国では男でも、毛皮の外套を着て、寒さを防ぐが米国ではこれは贅沢品となつていて、女でも、毛皮外套を呉れる程の男子になれば誰にでも、婚約すると謂われてゐる位で、なかなかの贅沢品になつてゐる。そいつをビリー・サンデーが着るところ、一見して、ビリー・サンデーが asceticism (苦行生活) でないことを知つた。

(以下次号)

INFORMATION

これからの行事予定

2022

＊印は同窓会主催

宮城 リ・ユニオン＊	10月15日(土)	
大阪 リ・ユニオン＊	10月22日(土)	
大学祭(町田キャンパス)	10月28日(金)～10月31日(月)	
大学祭(新宿キャンパス)	11月4日(金)～11月7日(月)	
100年桜まつり ～リ・ユニオン&ホームカミングデー～	11月12日(土)	
沖縄 リ・ユニオン＊	11月19日(土)	
モンゴル国立馬頭琴 交響楽団来日演奏会	12月3日(土)	東京ひなたやま キャンパス

2023

成人の祝い礼拝・茶話会＊	1月9日(月・祝)	
千葉県 リ・ユニオン＊	2月4日(土)	

※上記の行事予定はコロナ禍により中止・延期になる可能性があります。
詳細はそれぞれのウェブサイトをご確認ください。

会員の皆さまの個人情報の取り扱いについて

同窓会では、皆さまの個人情報につきまして、学園のプライバシーポリシーに基づき厳重な管理をしております。過去に発行された名簿の保管には充分ご注意いただき、第三者への譲渡や販売はお控えくださいますようお願い申し上げます。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めることができます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

同窓会Facebookのご案内

桜美林学園同窓会のFacebookでは、皆さまに同窓会や学園の最新情報、在校生・卒業生の活躍などをお伝えしております。詳細はFacebookのウェブサイトから「桜美林学園同窓会」で検索いただくか、右記QRコードよりアクセスをお願いいたします。

皆さまのフォロー、お待ちしております！

 @Obirin.alumni.official



事務局より会員の皆さまへ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧にならない方は、桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください。

お電話でのお問い合わせ／☎042-797-1632 (平日9:00～16:00)

ファックスでのお問い合わせ／☎042-797-3897

メールでのお問い合わせ／alumni@obirin.ac.jp

ウェブサイト／https://www.obirin.jp/alumni



特別会費納入のお願い

同窓会では会費納入規程第4条に基づき、学園をご卒業後10年、20年、30年の同窓生に各5,000円もしくは初回時(卒業後10年)に永年会費として10,000円の納入をお願いしております。皆さまからお預かりした特別会費は『同窓会だより』の発行や同窓会の諸活動、また学園支援に幅広く活用させていただいております。今後もさらなる同窓会発展のために努力してまいりますので何卒ご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

〈特別会費納入対象卒業年度〉

●1991年度 ●2001年度 ●2011年度

※卒業年度は会員番号上2桁でご確認ください。

※会員番号は宛名ラベルのお名前の下に8桁の数字とアルファベットで記載しています。

〈送金方法〉

銀行振込／三菱UFJ銀行 町田支店 普通 口座番号：4591073

口座名義：特別会費 桜美林学園同窓会 代表者 山本美浩

※振込依頼者の後に会員番号を追記してください。

携帯からのご送金など追記できない場合は不要です。

特別会費をご納付いただいた皆さま 敬称略

中河邦忠／59高校卒	渡辺啓太／91高校卒
加藤久実／83大英卒	中嶋永実／01高校卒
木之内美恵子／83大中卒	岩崎浩二／10大LA卒
嵯峨幸喜／84大経卒	谷川裕哉／11大院卒
藤村美和／91高校卒	

感謝の誌代 敬称略

榎木隆子／68短家卒	30,000円
杉浦信男／50中学卒	20,000円
岡村のぞみ／69大英卒	20,000円

編集後記

2022年6月11日の賀寿祝い礼拝は、総会に合わせて3年ぶりに荊冠堂チャペルで行いました。新型コロナウイルス感染症が広まってから、会うことができなかった同級生に久しぶりに再会した傘寿・喜寿・古希・還暦の皆さまの笑顔で、チャペルのホールは花が咲いたように明るくなりました。来年もまたこのように皆さまをお迎えしたいと願っております。今号では学園創立100周年を祝い制作した『桜美林学園同窓会65年の歩み』の完成もご報告できました。皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。広報委員長 田邊佳織